

# 宮崎の口蹄疫問題

## 「九州人の苦しみに。支援を」

集まった。

宮崎県の口蹄疫問題で、

「九州を一つにしよう」という運動を続けている民間団体「九州ワクワク応援団」―山口貴史団長(40)―が20日、宮崎市内を訪問し、インターネットのブログを通じて集まった義援金約180万円と、激励の手紙や千羽鶴を贈った。ブログで口蹄疫の被害状況を発信している同県川南町の酪

### 福岡の民間団体

農家を通じて、被災地の畜産関係者に配分される。

福岡市内で通信サービス会社を経営する山口さんが、口蹄疫の被害を発信する川南町の酪農家、弥永睦雄さんのブログ「川南町のムッチー牧場だよ〜ん。」をみて「宮崎の

苦しみは、同じ九州人の私たちの苦しみに。支援をしよう」とネット上で募金を呼びかけた。当初は団体内での活動だったが、弥永さんのブログに対する反響が大きく、5月26日の募金開始から約20日間で、全国から約180万円が

を訪れ、弥永さんの知人に義援金の目録や手紙などを寄付した。義援金は弥永さんが設けた募金口座に振り込む。山口さんは「宮崎の問題を、九州全体の問題として受け止めてくれる人が増えた。今後も支援活動を続けたい」と語った。

ブログで呼びかけ、義援金180万円贈る